

青翔開智 × 同志社 コラボ授業



5月2日（水）6限目に鳥取県にある私立青翔開智中学校3年生の40名が同志社中学校を訪れ、2年F組の生徒と共に「京都のこれから」を考える取り組みを行った。当日の午前中には青翔開智中の生徒は京都市内に繰り出し、各班ごとに「京都の課題」を探し、解決策を作り上げるという課題に取り組んでいた。そして、本校の6限目にその解決案を同志社中生徒と共有する試みであった。

自己紹介

照れながらも、各班ごとに自己紹介タイム。好きな教科や食べ物など、同じ中学生として、語り合う。45分間授業というタイトな中で実施したため、もう少し打ち解けるのに時間が必要だった。



プレゼンテーション

「レゴ エデュケーション」を用いて、京都の課題解決策をプレゼンテーションする青翔開智中の生徒。普段からプレゼンに慣れているのか、同志社中生も食い入るように説明に聞き入る。



同志社中生も一緒になり、解決策を考える。自分たちの身近な街の事を他県の生徒が真剣に議論することが、とても新鮮だったようだ。

共同の学び



学びの共有

それぞれの班で出した解決策を他の班と共有する。面白いほど、他の班と意見が被らないところに生徒のオリジナル性を感じた。

